

カリキュラム区分		3カリ			シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位	
		学年	学期						
専門分野	M213	1年	前期	看護学	選択	成人看護学特論Ⅰ Advanced Study on Chronic & Critical Nursing for Adults	30	2	
担当教員									
中西 純子		松井 美由紀							
関連するDPキーワード（看護学専攻）									
☐	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。								
☐	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。								
☐	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
☐	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）									
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。								
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。								
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
授業目的									
慢性・急性の状態にある人の特性を理解するための重要概念や理論にどのようなものがあるのかを知りその学習の仕方を修得する。 さらに、臨床経験に照らして理論の活用の仕方を身につける。									
到達目標（授業目標）									
①慢性看護、急性期看護／クリティカルケアの各概念、看護の動向について説明できる。									
②慢性・急性状況にある人を理解するためにどのような諸概念、理論があるか説明することができる。									
③特定の理論あるいは概念について、理論の学び方に沿い、引用・参考文献を提示しながらプレゼンテーションできる。									
④概念や理論を現象に照らして慢性・急性の状況にある人の特性を説明することができる。									
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	急性と慢性の概念、それぞれの医療・看護の動向と課題について講義する。（中西・松井）								
2回	急性・慢性の状況にある人の身体的・心理的・社会的特性について講義する。（中西・松井）								
3回	急性・慢性の状況にある人の特性を理解するための主要概念や理論の概観と理論の学び方（理論の背景、生成過程、内容、理論の適用対象や範囲、理論の有効性・課題等）について教授する。（中西・松井）								
4回	第3回の理論の学び方に従って、担当者がレポートしプレゼンテーションを行う。（中西・松井） コンプライアンス／アドヒアランスについて								
5回	第3回の理論の学び方に従って、担当者がレポートしプレゼンテーションを行う。（中西・松井） 不確かさ								

6回	第3回の理論の学び方に従って、担当者がレポートしプレゼンテーションを行う。（中西・松井） ストレス理論（生物学的・心理的）									
7回	第3回の理論の学び方に従って、担当者がレポートしプレゼンテーションを行う。（中西・松井） 病みの軌跡									
8回	第3回の理論の学び方に従って、担当者がレポートしプレゼンテーションを行う。（中西・松井） レジリエンス									
9回	第3回の理論の学び方に従って、担当者がレポートしプレゼンテーションを行う。（中西・松井） 疾病受容／障害受容									
10回	第3回の理論の学び方に従って、担当者がレポートしプレゼンテーションを行う。（中西・松井） 危機理論									
11回	第3回の理論の学び方に従って、担当者がレポートしプレゼンテーションを行う。（中西・松井） コンフォート									
12回	第3回の理論の学び方に従って、担当者がレポートしプレゼンテーションを行う。（中西・松井） 移行理論									
13回	事前に提示する課題図書（もしくは論文）について、深く読み取る訓練を行う：その1。（中西・松井）									
14回	事前に提示する課題図書（もしくは論文）について、深く読み取る訓練を行う：その2。（中西・松井）									
15回	事前に提示する課題図書（もしくは論文）について、深く読み取る訓練を行う：その3。（中西・松井）									
16回										
17回										
18回										
19回										
20回										
21回										
22回										
23回										
24回										
25回										
26回										
27回										
28回										
29回										
30回										
成績評価方法及び基準										
担当プレゼンテーションの内容（50%）、毎回の討論の内容（50%）トータル60点以上を合格とする。										
教科書										
参考図書等		①黒江ゆり子監訳：クロニックイルネス，医学書院 ②南裕子監訳：慢性疾患を生きる－ケアとクオリティ・ライフの接点，医学書院 ③江口重幸他訳：病の語り，誠信書房								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）										
第4回～12回では、自分が担当する理論のプレゼンテーションができるよう資料を作成し事前配布しておく。他者の担当回については、事前に配布された資料に目を通し討論に参加できるよう準備して臨む。										
第13～15回は、指定した課題図書について討論ができるように読み込んでおく。										
関連科目										
前科目										
後科目	M214	成人看護学特論Ⅱ	M215	成人看護学特論Ⅲ	M216	成人看護学演習	M227	特別研究Ⅰ	M228	特別研究Ⅱ
実務家教員										
看護師（医療機関）		中西 純子								
看護師（医療機関）		松井 美由紀								
備考		授業は2回続きで行いますが、順序は変更になる可能性があります。 課題図書（もしくは論文）は授業内で提示します。								